

2 経済性

中学校移転新築の事業費について

安全性等を重視し、必要な範囲で費用増検討する 1,182

標準的な機能や費用の範囲 992

将来負担を考え、施設規模・費用を抑える 886

その他 131

高千穂小学校の隣接地とすることで、小学校施設の一部を共用できるなど、他の候補地と比較して建設費および将来の維持管理費の抑制が見込まれます。

また、現在の高千穂小学校は平成25年に建設された比較的新しい施設であり、この既存施設を有効活用することが最も合理的であると考えられます。

これらを踏まえ、今後の教育施設全体の費用を見通した場合、高千穂小学校隣接地が最も経済性に優れていると判断しました。

3 教育・通学環境・安全性

立地環境について

町の中心部 706

自然に囲まれた静かな場所 173

敷地が広く施設等が充実できる 846

災害リスクが低い安全な場所 1,031

公共施設（図書館・体育館）が近い 128

地域の活性化に繋がる場所 180

わからない 127

高千穂小学校隣接地は現在の小学校とほぼ同様の環境にあり、教育環境や通学条件など小学校と大きく変わらず、良好な環境が確保できると考えられます。

また、安全性についても、当該地は土砂災害警戒区域外に位置していることから、問題はないと判断しました。

4 工事期間

早期着工・完成について

理解できる 2,331

ある程度理解できる 631

あまり理解できない 83

全く理解できない 66

わからない 80

移転新築にあたっては、土地利用の調整や埋蔵文化財調査など、さまざまな手続きが必要となります。高千穂小学校隣接地については、令和5年当初の検討から場所や考え方を見直しており、今回の候補地では大規模な埋蔵文化財調査が必要となる可能性は低いとの見解が示されています。

また、工事期間についても他の候補地と比較しても大きな差は見込まれず、円滑な工事着手が可能であると判断しました。

その他、自由記載がなかった方は2,147名であり、選択式設問で意思表示を終えられた方が多いものと考えられることから、全体の傾向は選択式の結果が基礎になると判断しています。

一方、記述のあった1,044名の主な意見としては、早期移転・建設（約225件）、高校併設（約150件）、安全性・教育環境の最優先（約140件）、将来負担や人口減少への配慮（約105件）などが見られました。

そのほか、立地・アクセス重視（約90件）、説明・情報公開の不足（約60件）、地域活性化や公共施設との連携（約50件）、子ども・保護者視点の重視（約35件）などの意見が寄せられています。



アンケートの結果につきましては、町のホームページにて公表していますのでご覧ください。

お問い合わせ 教育委員会 ☎0982(73)1205

高千穂中学校移転先を選定

令和5年度より移転先が検討されていた高千穂中学校の移転新築について、移転先を選定しました。

【高千穂小学校隣接地へ】

中学校の移転先については、旧温泉跡地や高千穂高校との併設など、さまざまご意見をいただきました。これを踏まえ、各候補地の調査状況に関する報告会の開催や、小中学校の保護者との意見交換、県教育委員会との協議、さらに町民アンケートの実施などを通じて、幅広く意見を伺ってきました。

その中で、町の教育方針である小中一貫による「教育の充実」、将来世代への財政負担を踏まえた「将来の学校のあり方」や「事業費の縮減」、児童生徒の「安全性の確保」、さらに中学校の「早期着工・完成」といった観点から、町の将来を見据え総合的に判断した結果、高千穂小学校隣接地を候補地として選定しました。

なお、今回のアンケートは、高千穂中学校の移転新築に関する今後の方向性を検討するにあたり、町民の皆様のご意見を広く把握することを目的として実施いたしました。多くの皆様にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。いただいたご意見は、候補地および今後の事業のあり方を検討する上での重要な基礎資料として活用させていただきますので、ここに選定理由とあわせてご報告いたします。

アンケート結果及び選定理由

【アンケート対象者】

18・19歳 176名
20代 529名
30代 729名
40代 1,090名
50代 1,118名
60代 1,694名
70代以上 3,904名
合計 9,240名

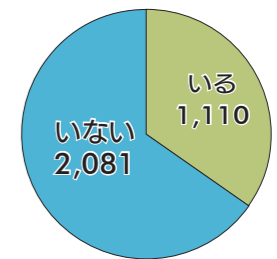
【アンケート回答者数】

3,191名

回答者年代別

18・19歳 46
20代 126
30代 245
40代 389
50代 389
60代 693
70代 1,273
答えたくない 30

同一世帯や町内に中学生以下のお子さまがいる



1 教育の充実

小中学校の小中一貫教育などについて

理解できる 1,491

ある程度理解できる 1,240

あまり理解できない 157

全く理解できない 76

情報が少ない 165

わからない 62

本町では、小中学校の連携を深め、9年間を通じた教育を進めていく方針です。小学校の中・高学年で一部の教科において専門の先生が授業をする仕組みや、5年生から英語を教科として学ぶ取り組みが進められており、小学校から中学校への移行をスムーズにすることが求められています。

また、小中学生が日常的に交流することで、学習面や生活面での良い影響が期待されるほか、少子化への対応という観点からも、将来的には9年間を一体的に学ぶ「義務教育学校」への移行も視野に入れていく必要があります。

このようなことから、高千穂小学校と中学校が近接し、連携しやすい環境を整えることが最も望ましいと判断しました。